

# 子供宝也 No.12

平成 26 年 5 月 29 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

## 学級信号

5年生の教室の前にこんな詩がはってあるのを見つけました。

いい詩ですね。

「学級」は初めから「学級」ではありません。先生と子どもたちが力を合わせて、ただの「集団」を「学級」に変えていくのです。

一定のきまりを守り、秩序を保ち、一人一人を大切にし、良く考え、その考えを交流しあい、その成果を学級の共有財産にし、それぞれの子どもたちが人間として成長していける場所が、本当の「学級」であると思います。この詩はどういう意図で掲示されているのかよくわかりませんが、5年生の先生方の求めるものが表現されているように思いました。子どもたちも、よく読んでほしいと心から思いました。みんながこんな子どもたちになったら、すばらしいなあと思いました。

### 学級信号

深沢 義旻

「考える」とは、新しい発見をすることだ。  
自分の頭を使い、自分の言葉でものを言うことだ。  
自分の目で確かめた事実の中から、真実をひき出してくることだ。  
それをくらしとつなげてみることだ。  
そして、自分を含めた人間にできることだけを信じることだ。  
ひとりひとりがそうした考えを出しあい、  
それを土台にして、  
新しい考えをみんなで組み立てていき、  
みんなのものにしていこう。  
みんなで決めて、みんなで行動する力は、  
ここから生まれ、ここから育つ。  
そのとき、昨日とちがう人間になる。

## 英語のシャワー：6年3組

今年も外国語活動が始まりました。今年は新しくダグラス・アーノルドという外国人講師を招いての活動です。中学校への接続を意識して取り組むという意気込みで来ています。

6年3組で、初めての授業がありました。あまり中学校の英語の授業を意識しすぎると、かえって英語嫌いをつくりかねないのですが、初回は楽しい、楽しい授業になりました。

講師の自己紹介から始まりました。子どもの頃の写真や家族の写真を見せながらの英語のシャワーは子どもたちを笑顔にしていました。ほとんど英語で話すので「大丈夫かなあ？」と思っていましたが、担任の先生のあいの手が、抜群のタイミングで入ります。とにかく「楽しい英語」になりそうだなあと思いました。